

富里市 小学校区別防災カルテ

<概況>

1 富里小学校

地区の概況

[地形・地勢]

市の中心部から根木名川沿いの北部に位置する。根木名川沿いは低地であり、その他の地域はほぼ台地で形成されている。低地と台地の境界に斜面が分布する。

[交通]

国道296号線が中央を東西に走る。また県道成田・両国線、県道八日市場・佐倉線が交差している。

[人口]

人口は8校区のうち1番多い。年齢別人口割合をみると、年少人口と生産年齢人口は市全体の割合より高く、老年人口は同等である。

[建物]

1km²当たりの建物棟数割合は8校区のうち2番目に高く、市全体の平均を上回っている。老朽木造建物割合は37.0%である。

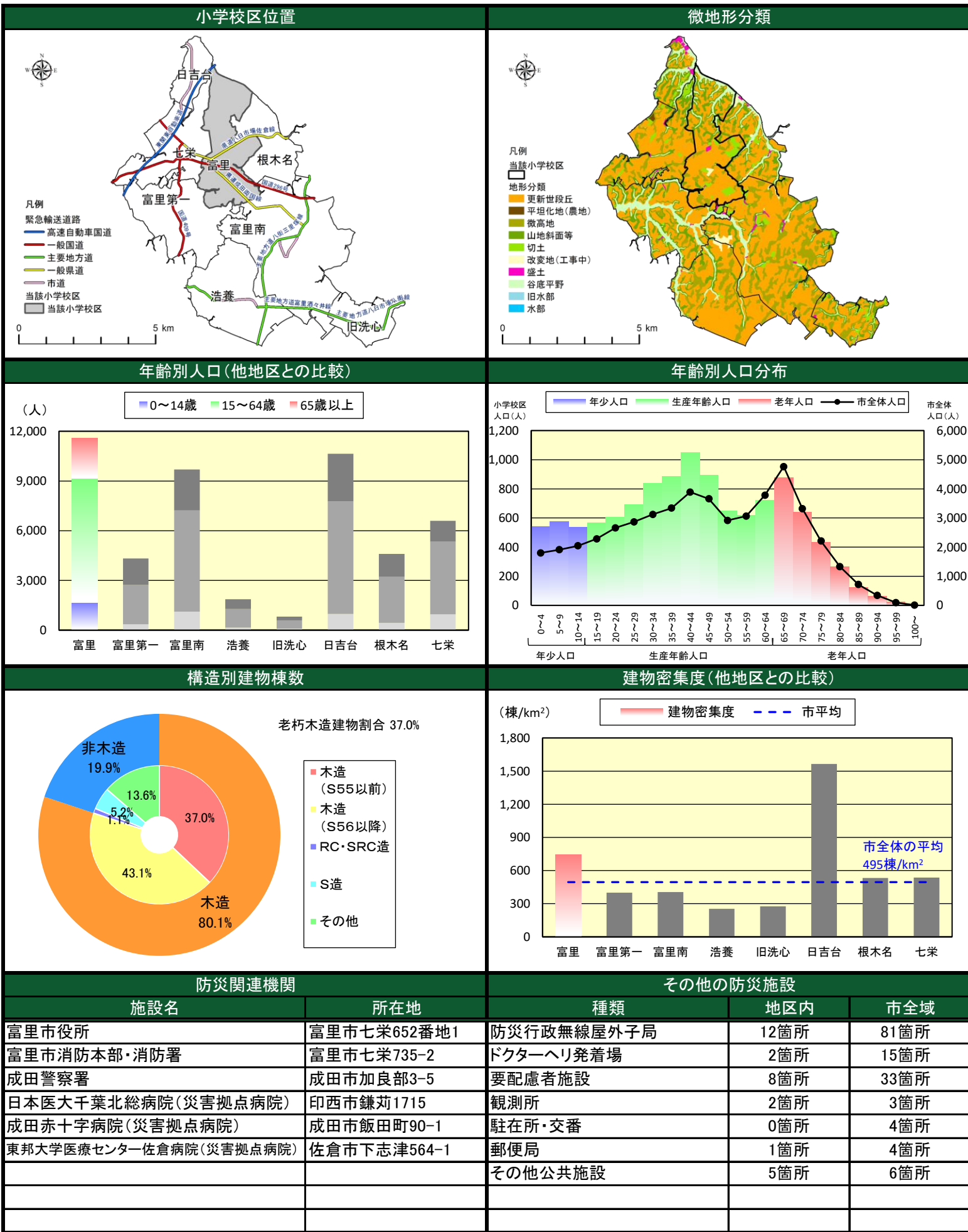
[避難施設]

指定緊急避難場所は4箇所、指定避難所は2箇所（収容人数853人）、福祉避難所は2箇所（収容人数は169人）指定されている。

		小学校区(a)		市全体合計(b)		割合(a/b)			
面積		7.05 km ²		53.88 km ²		13.09%			
人口・家屋の分布状況	人口分布状況	人口		11,592 人		50,134 人		23.12%	
		人口密度		1,643.43 人/km ²		930.48 人/km ²		—	
		男女別人口	男	5,950 人		25,584 人		23.26%	
			女	5,642 人		24,550 人		22.98%	
		世帯数		5,226 世帯		22,654 世帯		23.07%	
		0歳以上～14歳		1,651 人		5,754 人		28.70%	
		15歳以上～64歳		7,521 人		31,569 人		23.82%	
		65歳以上～		2,420 人		12,811 人		18.89%	
		避難行動要支援者		2,509 人		10,851 人		23.12%	
		うち 一次名簿対象者		786 人		3,399 人		23.12%	
	うち 手上げ名簿対象者		1,723 人		7,452 人		23.12%		
	建物分布状況	建物棟数		5,254 棟		26,684 棟		19.69%	
		木造(S55以前)		1,946 棟		11,087 棟		17.55%	
		木造(S56以降)		2,262 棟		10,704 棟		21.13%	
RC・SRC造		59 棟		290 棟		20.16%			
S造		272 棟		1,513 棟		17.95%			
その他		715 棟		3,089 棟		23.16%			
密集度		744.89 棟/km ²		495.25 棟/km ²		—			

避難施設	種類			施設名称	収容人数(人)		
	指定緊急避難場所	指定避難所	福祉避難所		指定緊急避難場所	指定避難所	福祉避難所
	●	●		富里小学校	2,241	265	0
	●	●		富里中学校	7,812	588	0
	●			富里中央公園	1,750	0	0
	●			獅子穴公園	1,002	0	0
			●	富里市保健センター	0	0	70
			●	富里市福祉センター	0	0	99
収容人数合計				12,805	853	169	

注 一次名簿対象者は、要介護3以上の方、障がい者、外国人等、手上げ名簿対象者は、単身の高齢者、妊産婦等を示す。
避難施設の収容人数は、複数の小学校区にまたがる中学校の収容人数も、全体の値を記載している。



富里市 小学校区別防災カルテ

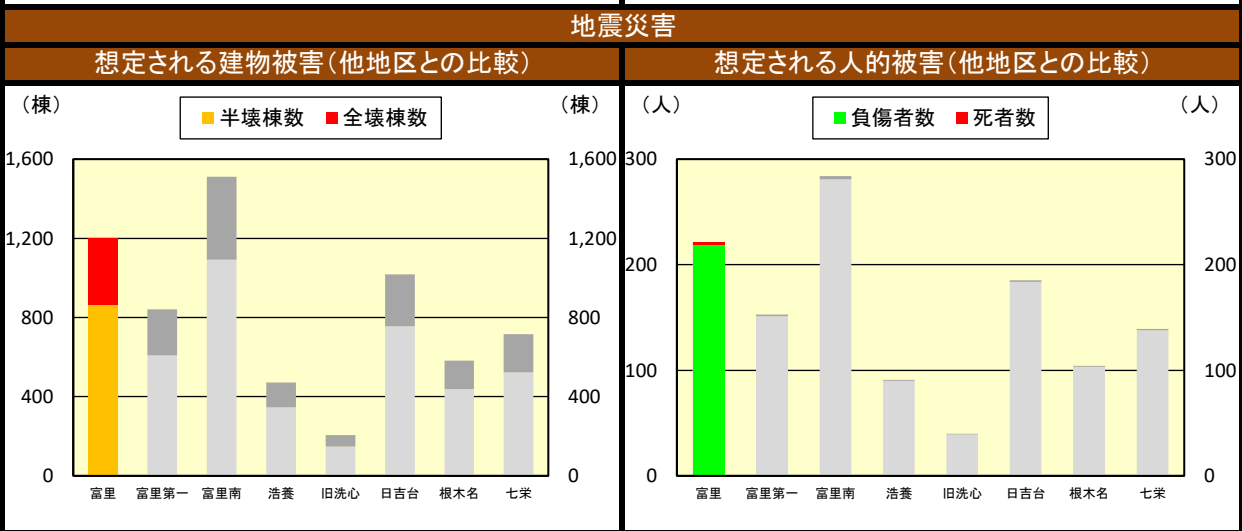
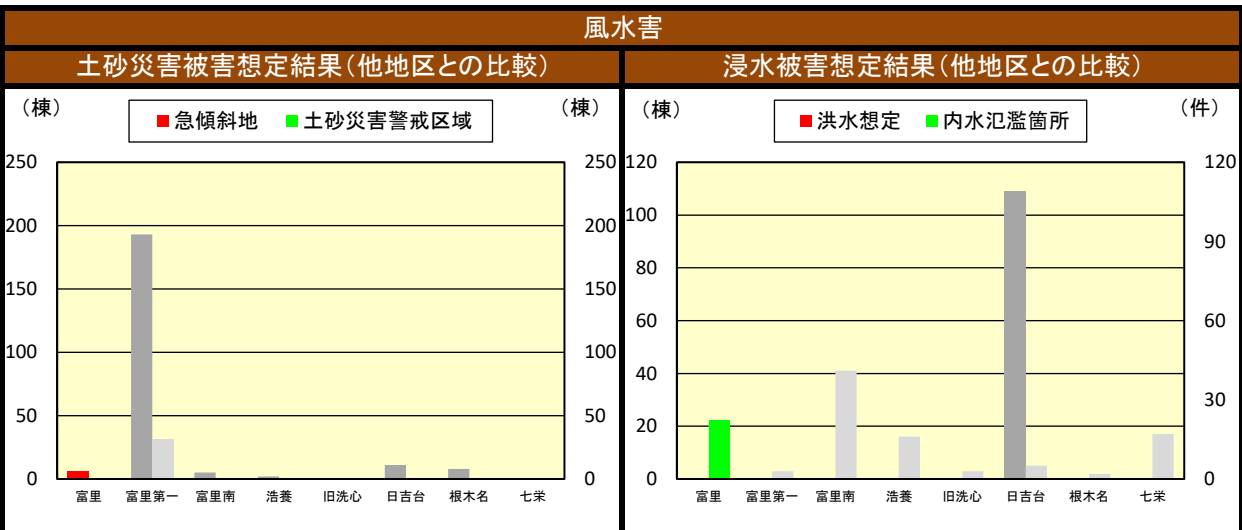
<結果>

1 富里小学校

風水害					
土砂災害 結果被害		箇所数(箇所・地区)	重なる面積(ha)	避難の対象世帯数(世帯)	避難の対象者数(人)
	急傾斜地崩壊危険箇所	1	0.70	4	10
	土砂災害警戒区域	0	0.00	0	0
	うち特別警戒区域	0	0.00	0	0
	山腹崩壊危険地区	0	0.00	0	0
浸水 結果被害 想定	根木名川浸水(洪水)想定区域		内水氾濫箇所		
	小学校区(a)		市全体合計(b)	内水氾濫種類	小学校区(a) 市全体合計(b)
	浸水面積(km ²)		0.00 0.11	床上浸水(棟)	3 15
	浸水する建物数(棟)		0.00 109.00	床下浸水(棟)	19 94
	避難の対象者数(人)		0.00 332.49	道路浸水(箇所)	11 26

地震災害										
地震被害 想定結果		震度階級					液状化危険度			
		5弱	5強	6弱	6強	7	PL=0	0<PL≤5	5<PL≤15	15<PL
	面積(km ²)	0.00	0.00	7.05	0.00	0.00	5.59	0.00	1.20	0.26
	面積率(%)	0.00	0.00	100.00	0.00	0.00	79.29	0.00	17.00	3.71
	建物被害(棟, 出火件数のみ件)					人的被害(人)				
	小学校区(a) 市全体合計(b) 割合(a/b)					小学校区(a) 市全体合計(b) 割合(a/b)				
	木造	全壊	325	1,751	18.58%	死者数	2	11	18.99%	
		半壊	844	4,766	17.70%	負傷者数	218	1,190	18.30%	
	非木造	全壊	11	60	17.64%	重傷者数	34	181	18.91%	
		半壊	26	160	16.13%	避難者数	997	4,646	21.46%	
	焼失棟数	2	7	23.24%	避難所避難者数	598	2,788	21.46%		
	上水道断水人口(人)					下水道支障人口(人)				
	断水人口	小学校区(a)	市全体合計(b)	割合(a/b)		支障人口	小学校区(a)	市全体合計(b)	割合(a/b)	
		4,408	25,672	17.17%			342	1,053	32.51%	

注 地震被害想定結果の建物被害、ライフライン被害は、冬18時強風時、死傷者数は冬深夜強風時の結果
避難所避難者数、断水人口、下水道支障人口は、地震発生直後の結果



災害の種類		災害の評価(%)	数値	順位	評価指標
風水害	土砂災害	土砂災害の影響を受ける避難人口率 ※避難対象人数(人)/地区の総人口(人)	0.1	5	
	浸水(洪水)	洪水の影響を受ける避難人口率 ※避難の対象者数(人)/地区の総人口(人)	0.0	2	
	浸水(内水氾濫)	建物が内水氾濫の影響を受ける被害率 ※床上床下浸水合計棟数(棟)/地区全体建物数(棟)	0.4	4	
地震被害	地盤被害	液状化の被害面積率 ※危険度15<PL(m ²)/地区全体面積(m ²)	3.7	2	
	建物被害	地震による建物被害率 ※全壊棟数(棟)/地区全体建物数(棟)	6.4	5	
	火災被害	火災による建物被害率 ※焼失棟数(棟)/地区全体建物数(棟)	0.0	2	
	人的被害	地震災害による死傷人口率 ※死傷者数(人)/地区全体人口(人)	1.9	7	
	避難者	地震災害による避難人口率 ※避難所避難者数(人)/地区全体総人口(人)	5.2	6	
避難行動要支援者		避難行動要支援者率 ※避難行動要支援者数(一次名簿のみ)(人)/地区全体総人口(人)	6.8	5	

グラフの見方:
評価指標は、上記の災害の種類を、災害の評価に基づき、パーセンテージで表したものです。グラフの九角形面積が広いほど、地域が総合的に「災害に弱い」ことを示しています。

地区の災害特性		防災対策の方向性	
風水害	●校区北部に急傾斜地崩壊危険箇所があり、土砂災害の危険性を受ける可能性がある。 ●内水氾濫の被害率(建物棟数比)は8校区のうち4番目に高い。 ●根木川の氾濫による洪水の浸水想定区域外である。	風水害	●急傾斜地崩壊危険箇所の対策工等の整備が必要である。 ●内水氾濫被害箇所は、雨水排水機能の強化が必要である。 ●大雨等による風水害に備え、日ごろから避難体制(特に要配慮者への支援)の整備を進める必要がある。
地震被害	●富里市直下地震が発生した場合、全域で震度6弱の強い地震が想定される。 ●根木名川沿いの低地や、盛土部では液状化の危険性が高く、液状化危険度の高い面積は2番目に大きい。 ●建物の全壊率は5番目に高い。 ●校区の避難所避難者数598人に対して指定避難所の収容人数は853人と収容力は十分である。	地震被害	●液状化のおそれのある地域では、地盤改良等の液状化対策が必要である。 ●昭和56年以前の建物には耐震化や家具の固定等を行う必要がある。 ●木造建物の不燃化として、沿道建物の不燃化等の推進を図る必要がある。 ●日ごろから避難訓練への参加や家庭内備蓄を行う必要がある。

